

令和7年度東陽中学校グランドデザイン

東陽中学校区小中一貫教育校 重点教育目標：「誰とでもつながる力」の育成

- リーダーシップ・フォロワーシップが発揮できる（自立・自律）
- 対話力・共感力が備わっている（コミュニケーション）
- 人と人とのつながりの中で課題を解決する力がついている（協働）



令和7年度小中一貫教育校の重点取組み

【体育・総合】・・・[体育]身体を動かす楽しさを育みながら、体力・表現力・集団行動力（主体性・課題解決能力）の育成

[総合]協働的な取組み、探究活動などを取り入れ、対話力・表現力・主体性・課題解決能力の育成

【なかまづくり】・・・児童生徒の自己効力感が高まる、リーダー育成や子どもどうしのつながりを意識した委員会活動や班活動等の取組み実施



学校教育目標：



自己成長と挑戦

自己責任と個性の尊重

コミュニケーション能力

思いやりと協調性

社会的責任と未来への視点

重点目標：「東陽ナチュラルサポート」を取り入れた授業を展開し、すべての生徒の可能性を引き出す学びの実現をめざす



目標達成のための具体的な取組み

- RS（リーディングスキル）・情報活用能力を高め、プレゼンを積極的に進める
- 自分の想いを出し、なかまの想いを受け止められる「班活動」をめざす
- 生徒全員で企画・運営・参加する「生徒主体の学校づくり」を進める
- 食育を充実し、食・健康・からだづくりへの関心をさらに高める
- 多文化に触れ、外国語に親しみ、コミュニケーションの機会を増やす
- 学校運営協議会（コミスク）と連携し、地域人材を活用した教育活動の拡充をめざす



数値目標（R6）→（R7）

教員は授業の進め方や教え方を工夫している94.7→96.0％
学校へ行くのが楽しみである83.2→86％
生徒会・委員会・学級活動等に積極的に参加する61.2→63％
健康を意識し、楽しく給食を食べている＜新規＞70％
外国語に親しみ、いろいろな人と交流の機会がある＜新規＞70％
地域人材の活用によって、教育活動の充実を図る55.6→58％